

2008年(平成20年)1月7日(月曜日)

「水分野の国際戦略を」

自民党が
研究会設置
洞爺湖サミットへ提言

水分野の国際貢献へ向けた動きが各方面で活発化しつつある。自民党では党所属国会議員が「特命委員会・水の安全保障研究会」(会長＝中川昭一・元政調会長)を立ち上げ、水分野の国際戦略について検討を始めた。

温暖化対策など環境問題が主要テーマとなる7月のG8洞爺湖サミットをめぐりに政策提言をまとめるという。先月14日に初会合が持たれた。

研究会では主に①アジア地域での水資源管理の支援策②食料安全保障の面からの施策展開③日本の水関連産業の進出への

研究会での検討は「アジアのリーダーとして」や「顔の見える国際貢献」といったことがキーワードになりそうだ。半年程度かけて研究・検討を行う。当面は有識者や行政からのヒアリングを実施していく予定。学会から北海道大学の眞柄泰基・特任教授、NPOから日

本水フォーラムの竹村公太郎・事務局長、民間からはグローバル・ウォーター・ジャパンの吉村和就・代表らが候補に挙がっている。